

# 中部地整管内における水防災意識社会再構築ビジョンの取り組み

中部地方整備局 河川部 河川計画課 細野貴司 坂井文也

## 逃げ遅れによる多数の死者や甚大な被害が発生



「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を実現し、同様の被害を二度と繰り返さない抜本的な対策が急務

### 水防災意識社会再構築ビジョン

「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」との考えに立ち、ハード・ソフト対策を一体として、社会全体でこれに備える水防災意識の再構築への取組を打ち出した

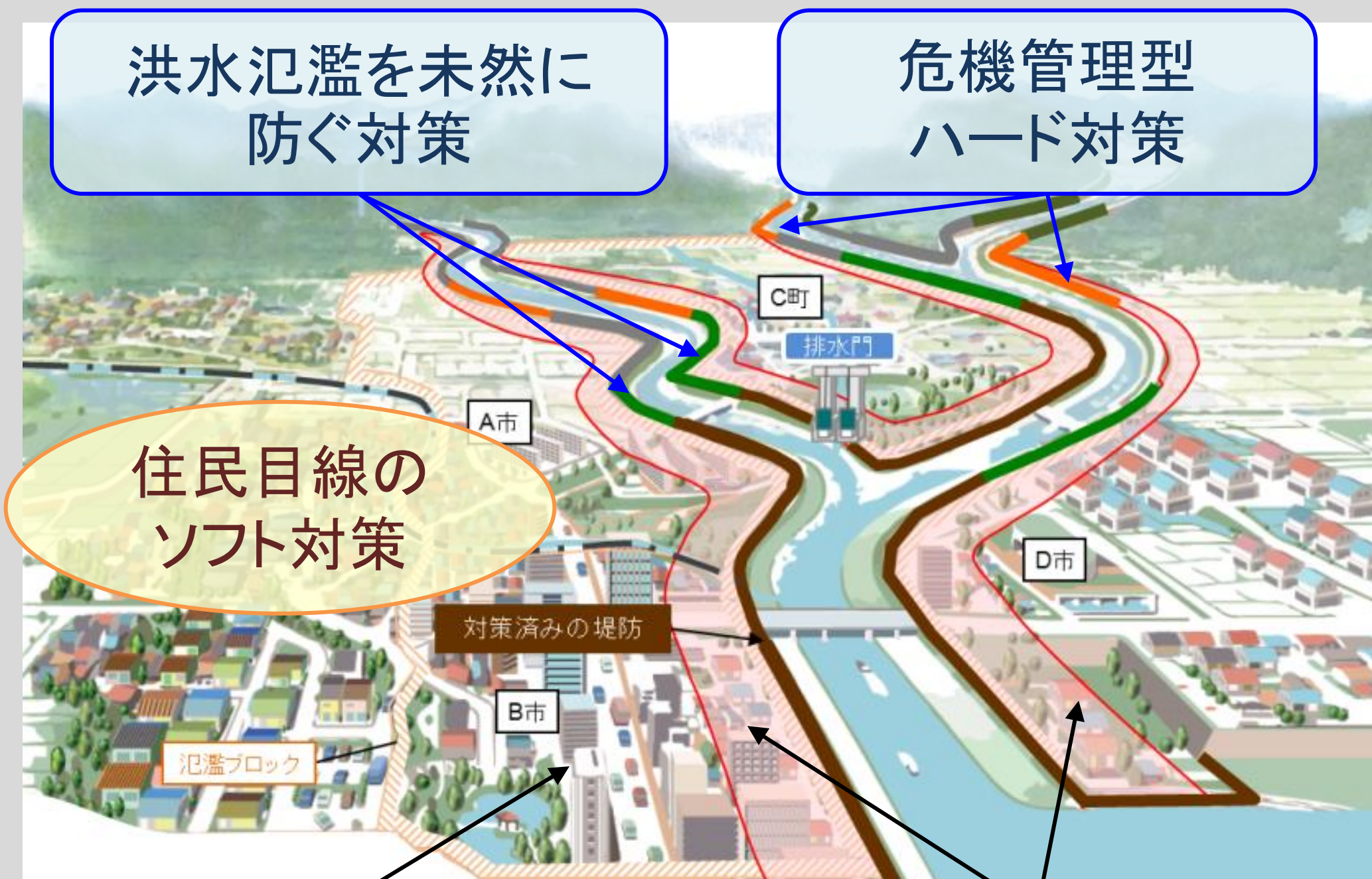
## 水防災意識社会再構築ビジョンとは

＜ハード対策＞ →平成32年度目途に実施

- ・「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」に加え
- ・「危機管理型ハード対策」を新たに実施

### ＜ソフト対策＞

- ・より実効性のある「住民目線のソフト対策」を実施



想定最大規模における「洪水浸水想定区域」を公表



早期の立退き避難が必要な「家屋倒壊等氾濫想定区域」の公表



## 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

＜優先的に整備が必要な区間＞

堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

パイピング、法すべり  
↓  
漏水対策（浸透含む）



流下能力不足  
↓  
堤防整備・河道掘削



水衝・洗掘  
↓  
侵食・洗掘対策



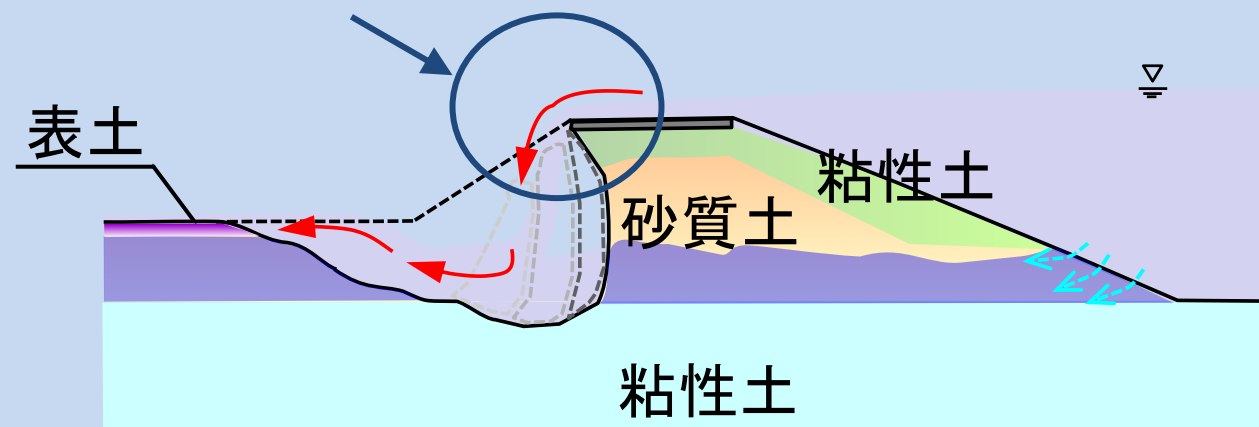
## 危機管理型ハード対策

＜氾濫リスクが高いにも関わらず、当面の間、上下流バランス等の観点から堤防整備に至らない区間＞

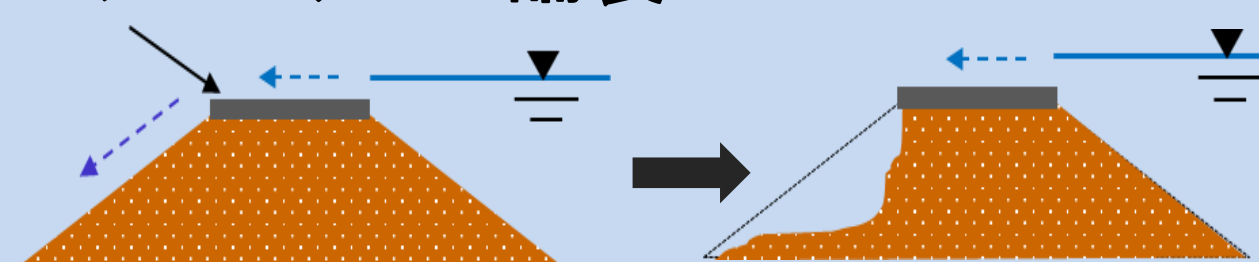
越水時に決壊までの時間を少しでも延ばす対策を実施

### 堤防天端の保護

雨水の浸透を抑制し、崩壊の進行を遅らせる

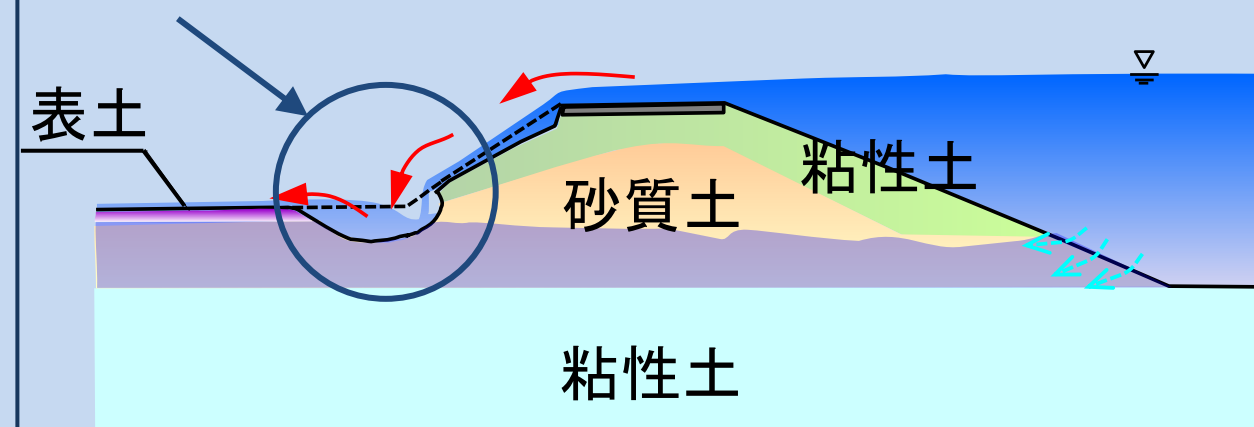


### アスファルト舗装

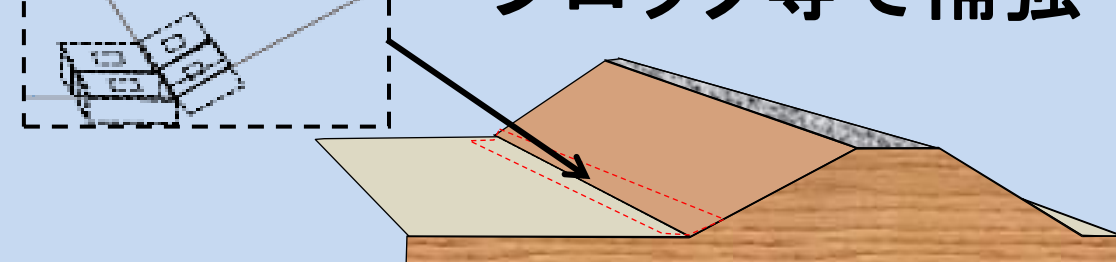


### 堤防裏法尻の補強

深掘れの進行を遅らせる



### ブロック等で補強

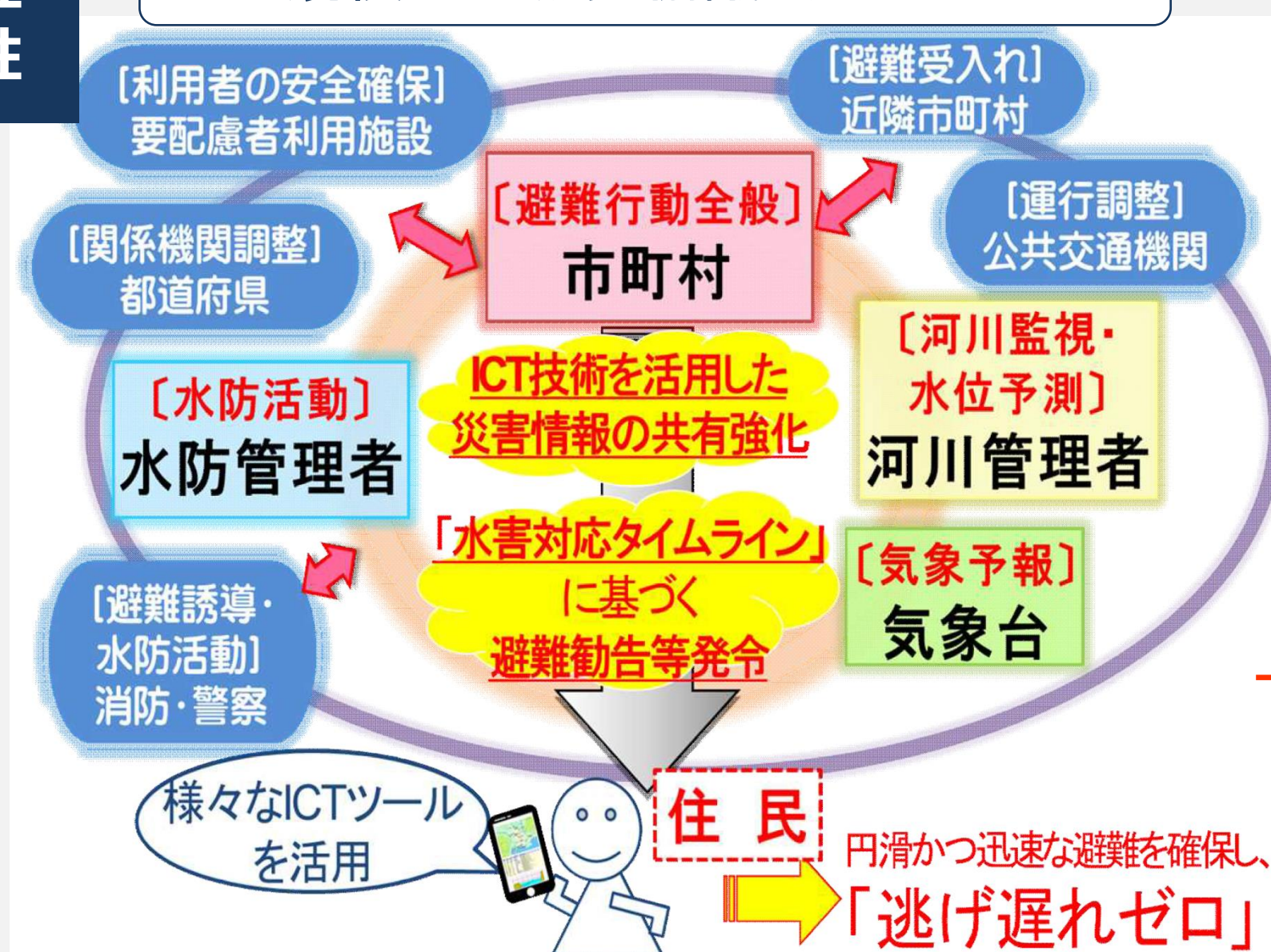


## 水防法の一部が改正

「逃げ遅れゼロ」実現のための多様な関係者の連携体制の構築

大規模氾濫減災協議会制度の創設

大規模氾濫減災協議会のイメージ



国は必置

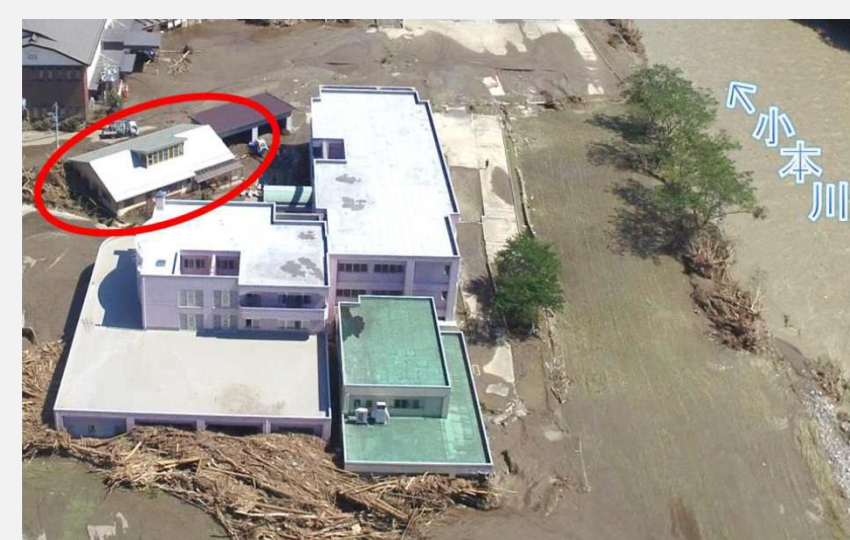
都道府県は任意

→協議結果には尊重義務

浸水実績等を活用した水害リスク情報の周知等

洪水予報河川や水位周知河川に指定されていない中小河川  
→水害リスク情報を周知する義務

要配慮者利用施設における避難確保計画の作成等の義務化



平成28年台風10号により孤立した要配慮者利用施設

避難確保計画の作成、避難訓練の実施

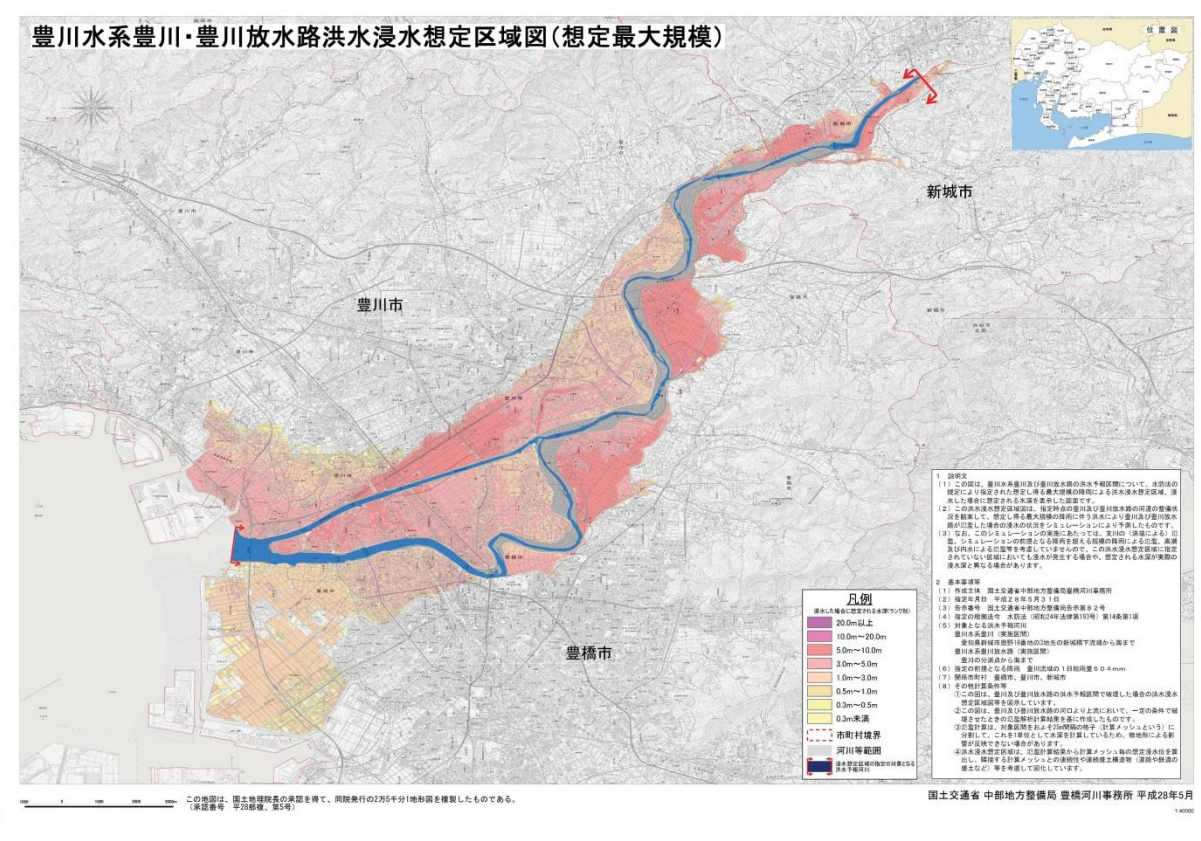
「努力義務」→「義務」

# より住民目線、住民主体に！ 一施設では守りきれない大洪水は必ず発生する一

## 住民目線のソフト対策

### 住民等の行動につながるリスク情報を周知！

#### 洪水浸水想定区域（想定最大規模）、家屋倒壊等氾濫想定区域 を公表



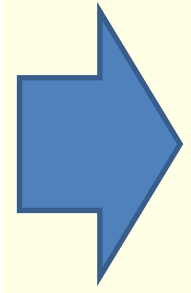
豊川水系豊川洪水浸水想定区域図

#### ○タイムライン、排水計画

：策定に向けて検討を実施

#### ○避難行動計画、洪水ハザードマップ

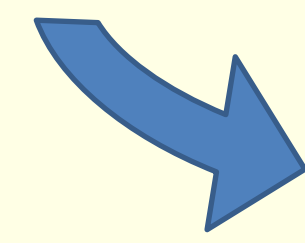
：各自治体担当者への情報提供・助言



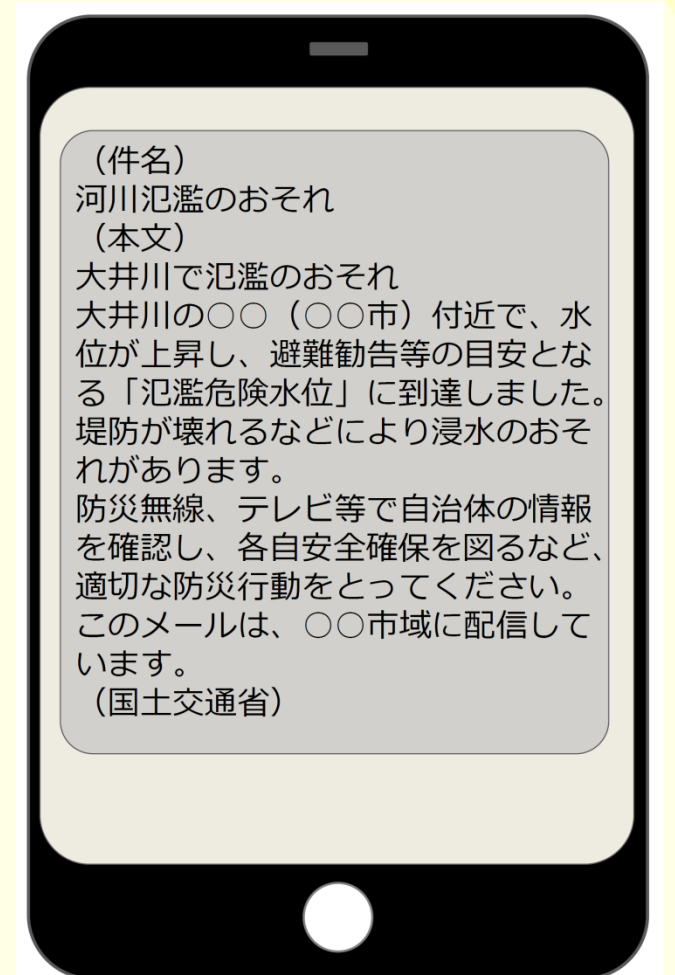
想定最大規模の洪水に対応した計画へ

#### 緊急速報メールの配信

国土交通省が  
発表する  
洪水の情報



スマートフォン等にエリ  
アメールを一斉配信  
(**プッシュ型配信**)。



住民自らリスクを察知

## 必ず発生する大洪水に備える！

#### 要配慮者利用施設における避難訓練



特別養護老人ホームの避難訓練

逃げ遅れゼロへ

#### 関係機関が連携した水防演習



狩野川での水防演習

緊急時の連携・相互協力体制を強化

#### 消防団と意見交換



自治体、消防団との意見交換

## 水防災意識を啓発！

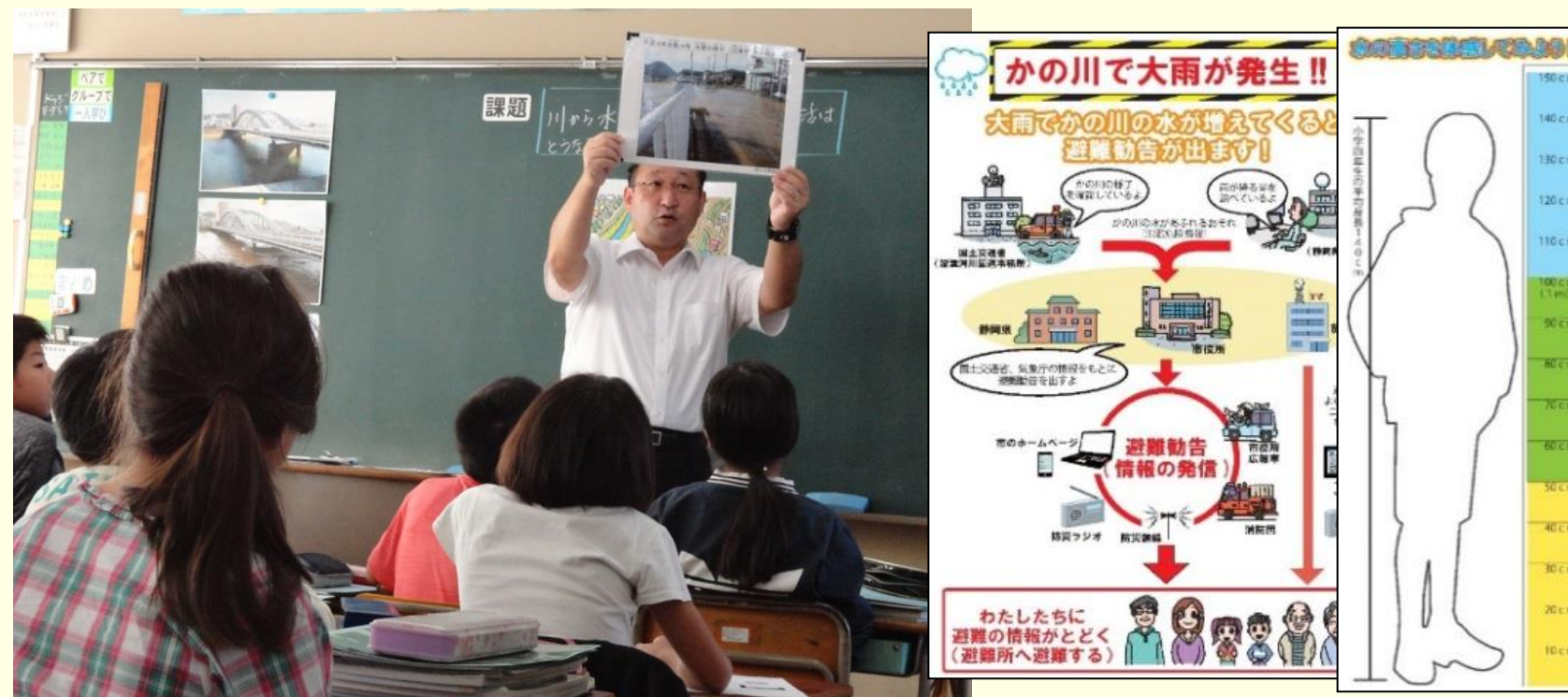
#### 小学校へ出前講座



国交省職員による授業

防災の関心を向上

#### 小学校等と共同で防災教育の教材を作成



作成した教材を活用し、教員がわかりやすく伝える

普段の授業で防災教育が可能に

#### 市長へ防災教育冊子を寄贈



静岡市長への寄贈

防災知識を地域へ

#### 首長・住民との合同点検



首長参加による合同点検

避難に資する判断材料の提供

#### 住民に対する防災講演



定期的な防災セミナーの開催

住民の主体的避難を促進

#### 防災シンポジウムを開催



防災のプロ(学識者)による講演会

過去の経験を未来に継承